



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月21日

上場会社名 株式会社 安川電機

上場取引所 東 福

コード番号 6506 URL <http://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 津田 純嗣

問合せ先責任者 (役職名) 東京管理部広報グループ長

(氏名) 林田 歩

TEL 03-5402-4564

四半期報告書提出予定日 平成23年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年3月21日～平成22年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	212,518	41.2	7,684	—	7,719	—	4,321	—
22年3月期第3四半期	150,554	—	△11,033	—	△10,553	—	△8,161	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.17	—
22年3月期第3四半期	△32.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	261,936	95,830	34.8	361.82
22年3月期	241,649	93,289	36.6	351.47

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 91,058百万円 22年3月期 88,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	31.3	12,500	—	12,500	—	6,500	—	25.83

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、(添付資料)4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 252,331,938株 22年3月期 252,331,938株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 666,718株 22年3月期 649,178株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 251,673,717株 22年3月期3Q 251,709,088株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(添付資料)

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年3月21日～平成22年12月20日）の当社グループを取り巻く事業環境は、大幅な円高の影響はあったものの、中国をはじめとするアジアを中心とした堅調な外需及び主要な国内顧客の業績回復に牽引され、拡大基調で推移いたしました。

このような市場の伸びを捉え、当社グループでは業績拡大を図るべく、中期経営計画“Challenge 100”に掲げる成長戦略のもと、以下の施策を実行してまいりました。

- ・成長市場である、中国をはじめとするアジア、新興国市場への販売加速
- ・環境エネルギー事業の推進、拡大
- ・徹底的なコストダウンの継続

上記の堅調な事業環境及び施策実行の成果もあって、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、主要セグメントのモーションコントロール及びロボットを中心に売上高・損益とも前年同期から大きく拡大・改善し、売上高2,125億18百万円（前年同期比41.2%増）、営業利益76億84百万円（同187億18百万円増）、経常利益77億19百万円（同182億72百万円増）、四半期純利益43億21百万円（同124億82百万円増）となりました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当第3四半期連結累計期間の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
モーションコントロール	1,162億59百万円 (58.6%増)	72億15百万円 (114億38百万円増)
ロボット	595億75百万円 (58.8%増)	5億51百万円 (83億31百万円増)
システムエンジニアリング	207億74百万円 (17.5%減)	2億9百万円 (17億54百万円減)
情報	98億35百万円 (5.5%減)	△7億50百万円 (2億26百万円の損失減)
その他	60億74百万円 (46.1%増)	3億85百万円 (4億81百万円増)

[モーションコントロール]

ACサーボモータ・コントローラは、顧客の設備投資回復に伴う需要拡大により、受注は高水準となりました。また、急速な受注の立ち上がりに追従すべく、生産体制の強化・効率化に注力し売上の拡大に努めました。

インバータは、省エネルギー需要と、中国をはじめとするアジアを中心としたインフラ関連需要を取り込み、受注・売上とも、堅調な水準を持続しております。

これらの結果、売上高・営業利益とも大きく拡大いたしました。

[ロボット]

溶接・ハンドリングロボット等は、海外では自動車業界向け等を中心に拡販に努め、受注が拡大いたしました。国内では自動車業界向け需要は依然回復していませんが、一般産業界向け需要獲得に注力いたしました。

また、液晶業界・半導体業界向けについても概ね堅調な水準を持続いたしました。

この結果、売上高は拡大し、営業損益も黒字転換いたしました。

[システムエンジニアリング]

鉄鋼業界向けが需要の端境期にあり、前年同期比で売上高は減少いたしました。損益面では、原価低減と採算管理の徹底により黒字を確保いたしました。

〔情報〕

競争激化により売上高は前年同期比で微減となりました。損益面では、徹底した原価低減により損失が減少いたしました。

〔その他〕

当セグメントには、物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、2,619億36百万円(前連結会計年度末比202億87百万円増)で、流動資産が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、1,661億6百万円(同177億46百万円増)で、流動負債が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、958億30百万円(同25億41百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想につきましては、平成22年10月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。なお、平成22年12月21日から平成23年3月20日までの期間における為替レートは、平均80円/米ドル、平均110円/ユーロを想定しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末あるいは第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、一時差異の発生状況等について前連結会計年度末から著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高及び損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,663	16,430
受取手形及び売掛金	83,904	81,024
商品及び製品	37,442	30,747
仕掛品	10,324	5,935
原材料及び貯蔵品	12,888	9,517
その他	27,016	19,931
貸倒引当金	△1,526	△1,550
流動資産合計	185,713	162,036
固定資産		
有形固定資産	35,891	36,390
無形固定資産	5,469	5,202
投資その他の資産		
その他	35,388	38,509
貸倒引当金	△526	△489
投資その他の資産合計	34,861	38,019
固定資産合計	76,223	79,612
資産合計	261,936	241,649

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,934	51,082
短期借入金	33,229	31,830
役員賞与引当金	40	44
その他	27,210	22,294
流動負債合計	124,414	105,252
固定負債		
長期借入金	9,234	10,405
退職給付引当金	31,127	31,337
役員退職慰労引当金	270	278
その他	1,059	1,085
固定負債合計	41,691	43,107
負債合計	166,106	148,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,062	23,062
資本剰余金	18,682	18,682
利益剰余金	55,058	51,534
自己株式	△420	△407
株主資本合計	96,382	92,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,703	1,241
繰延ヘッジ損益	0	△11
為替換算調整勘定	△7,027	△5,641
評価・換算差額等合計	△5,323	△4,412
少数株主持分	4,772	4,830
純資産合計	95,830	93,289
負債純資産合計	261,936	241,649

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)
売上高	150,554	212,518
売上原価	118,648	157,668
売上総利益	31,905	54,849
販売費及び一般管理費	42,939	47,165
営業利益又は営業損失(△)	△11,033	7,684
営業外収益		
受取利息	49	64
受取配当金	222	259
持分法による投資利益	—	60
雇用調整助成金	882	239
その他	750	442
営業外収益合計	1,903	1,066
営業外費用		
支払利息	537	490
持分法による投資損失	295	—
為替差損	390	306
その他	199	234
営業外費用合計	1,422	1,032
経常利益又は経常損失(△)	△10,553	7,719
特別利益		
固定資産売却益	45	44
その他	—	3
特別利益合計	45	47
特別損失		
固定資産除売却損	109	62
たな卸資産評価損	2,138	—
投資有価証券評価損	—	389
その他	319	113
特別損失合計	2,567	565
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13,075	7,201
法人税、住民税及び事業税	658	2,939
過年度未払法人税等戻入額	△139	—
法人税等調整額	△5,117	△26
法人税等合計	△4,598	2,913
少数株主損失(△)	△314	△32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,161	4,321

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)

(単位:百万円)

	モーション コントロール	ロボット	システムエンジ ニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高	73,300	37,516	25,167	10,412	4,156	150,554	—	150,554
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,149	328	1,126	1,318	2,835	9,758	△9,758	—
計	77,450	37,845	26,293	11,731	6,992	160,312	△9,758	150,554
営業利益 又は営業損失(△)	△4,223	△7,780	1,963	△976	△95	△11,112	78	△11,033

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)

(単位:百万円)

	モーション コントロール	ロボット	システムエンジ ニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高	116,259	59,575	20,774	9,835	6,074	212,518	—	212,518
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,018	639	1,093	2,171	3,740	17,663	△17,663	—
計	126,277	60,215	21,867	12,006	9,814	230,182	△17,663	212,518
営業利益 又は営業損失(△)	7,215	551	209	△750	385	7,611	73	7,684

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高	88,182	19,906	17,484	24,980	150,554	—	150,554
(1)外部顧客に対する売上高							
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,233	231	105	1,855	23,424	△23,424	—
計	109,415	20,138	17,590	26,835	173,979	△23,424	150,554
営業利益又は営業損失(△)	△14,295	479	△605	1,352	△13,070	2,036	△11,033

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の主な国の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高	127,294	25,130	21,280	38,813	212,518	—	212,518
(1)外部顧客に対する売上高							
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	45,381	291	177	4,262	50,112	△50,112	—
計	172,675	25,421	21,458	43,075	262,631	△50,112	212,518
営業利益	4,231	1,493	804	3,171	9,701	△2,016	7,684

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の主な国の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日）

（単位：百万円）

	米州	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	21,005	16,878	37,525	768	76,177
II 連結売上高	—	—	—	—	150,554
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	14%	11%	25%	1%	51%

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な国の内訳は、次のとおりであります。

- （1）米州 米国等
- （2）欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- （3）アジア 中国、シンガポール、韓国等
- （4）その他 オーストラリア等

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日）

（単位：百万円）

	米州	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	28,254	21,147	62,248	533	112,183
II 連結売上高	—	—	—	—	212,518
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	13%	10%	30%	0%	53%

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な国の内訳は、次のとおりであります。

- （1）米州 米国等
- （2）欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- （3）アジア 中国、シンガポール、韓国等
- （4）その他 オーストラリア等

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。